

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公表番号】特表2005-520429(P2005-520429A)

【公表日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2003-577450(P2003-577450)

【国際特許分類】

H 04 Q 7/36 (2006.01)

H 04 B 5/02 (2006.01)

H 04 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 104A

H 04 B 5/02

H 04 B 7/26 109M

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月20日(2006.3.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

スキームのポーリング

複数の実施例では、スケジューラ0108は、プロセッサー0101上で実行されるソフトウェアとして実現されており、周期的にWCI0100をポールし、ワイヤレスメディアよりのフレームをレシーブする。スケジューラ0108は、前記フレームのフィールドをデコーディングすることによって識別子の検出ファンクションを実行する。スケジューラ0108は、次に、識別子をトリガするトリガ識別子のプレゼンスをアップデートする。スケジューラ0108は、検出された識別子の、最も新しいプレゼンスを有するトリガコンディションを評価する。そのような訳で、スケジューラ0108に関連する識別子を含むワイヤレスメディア上のメッセージの小さな断片しか存在しない場合、識別子検出ファンクションを実行するためには、プロセス0101が強化される必要がある。故に、割り込みスキームが、電力消費を減少させるべく後続の実施例において考察されている。消費電力に関する問題は、モバイルコンピューティング環境においては主要な関心事である。